

重点4 ICT活用の推進

ねらい

小中学校にICT環境を整備するとともに、教員のICT※活用能力と情報教育に関する指導力を高めることで、ICTを活用したよりわかりやすい授業の実現と、情報活用能力を持ち、情報社会に適切に参画していくことのできる子どもを育てる環境を整備します。

※ICT（Information and Communication Technology）は情報通信技術のこと

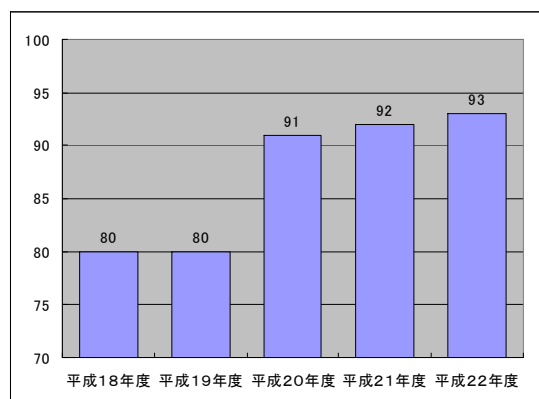
現状と課題

○ ICTを活用して教科指導ができる教職員の割合の推移

平成22年度は、ICTにかかわる教職員研修講座を全95回開催し、全ての教職員が授業や校務等において広くICTを活用できるよう研修の充実を図りました。

この結果、ICTを活用して教科指導ができる教職員の割合は93%に向上し、デジタル教科書やデジタル掛図等を電子黒板等で効果的に活用した授業が進みました。また、このような授業の取組により、「電子黒板などを使うと授業がわかりやすくなった」と答える児童生徒も多くいました。

今後は、全ての教室にICT機器の整備を進めるとともに、教職員全てがICTを活用して教科指導ができる力を身につけることが課題です。



【ICTを活用して授業ができる教職員の割合】

今後の方向性

○ 普通教室・特別教室へのICT整備

平成21年度に導入した電子黒板等3～4台を活用し、平成22年度は、全ての教職員がICTを活用した教科指導ができるよう取り組みましたが、大規模校においては、機器等が不十分であるため、十分に活用できない教職員が多くいました。今後は、どこの教室においてもICTが活用できるよう機器の拡充整備に取り組みます。



【教室で電子黒板を活用して鑑賞する生徒】

○ ICTコーディネーターを中心とした校内研修の充実

全ての教職員がICTを活用した「わかりやすい授業」をめざし、教科指導ができるよう、ICTコーディネーターが中心となって、授業研究や模擬授業等の校内研修を進めます。

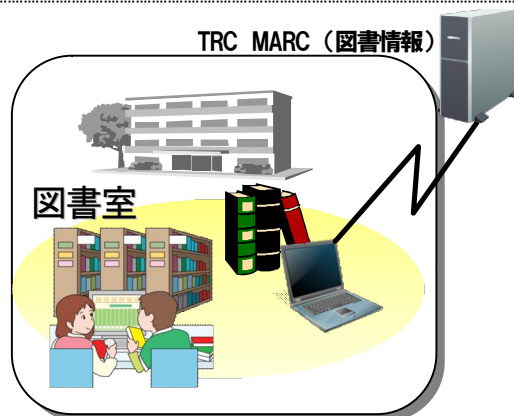
○ 児童生徒の情報活用能力の向上と情報モラルの向上

変化の激しい情報社会に対し適切に参画できる児童生徒の態度を育成するとともに、多くの情報を適切に判断し活用できる情報活用能力を育成します。

その他の主な取り組み状況

○ 図書館ネットワークシステムの整備について

平成22年度は、図書館ネットワークシステムのサーバーと図書館コンピュータのシステムを更新しました。これによって、蔵書検索の操作性が以前に比べて良くなりました。また、図書館業務などの作業効率が良くなり、蔵書の貸出・返却処理がスムーズになりました。



○ 四日市市学校・園情報メール配信システム（すぐメール）の整備について

平成23年4月から、これまでの「e学校ネット」に代わり「すぐメール」の運用を開始します。これは、市内の公立小・中学校や幼稚園の保護者及び地域協力者の方に、子どもの安心安全にかかわる情報をメールで配信するシステムです。

これによって、「防犯」「生活安全」「防災」「インフルエンザ」等の様々な情報を教育委員会から多くの利用者に一斉配信できるようになりました。

また、学校や園からは、「急な連絡変更」「臨時休校・休園」「安全に関わる啓発」「行事の開催案内や中止連絡」「学級閉鎖」等の情報を提供していきます。



○ ICT活用推進のための出前研修

教育の情報化（情報教育、教科でのICT活用、校務の情報化）を進めるため、各学校に出前研修を行いました。特に、電子黒板等の効果的な活用については、教職員間で活用のアイデアを出し合うワークショップ型研修を行いました。さらに、実際の教材を使ってICTの効果を模擬授業で交流しました。

また、研修の振り返りを目的とした「サポートメール」を教職員一人一人に送り、事後のフォローアップを行いました。

これらによって、デジタル教科書をはじめ、書画カメラやインターネットなどを使った「わかりやすい授業」の実践が進んでいます。

